

症例でみる 歯科用CTの三次元診断

👉 **ここが読像のポイントだ!**

編：本田 和也（日本大学歯学部教授：歯科放射線学）

橋本 光二（日本大学歯学部准教授：歯科放射線学）

著：本田 和也・橋本 光二・新井 嘉則・岩井 一男

荒木 正夫・江島 堅一郎・川嶋 祥史・澤田 久仁彦

亀岡 重雄・甲斐 由紀子

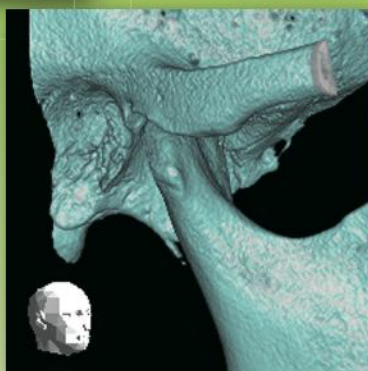
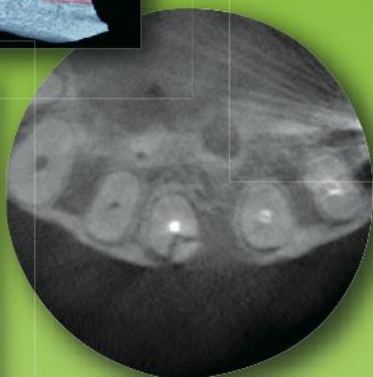
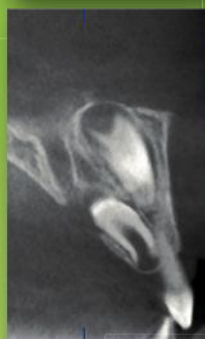
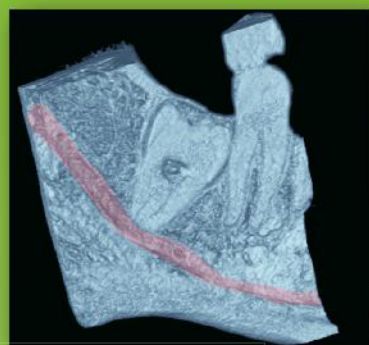
A4変型 100ページ オールカラー ISBN978-4-901894-95-1

定価6,090円（本体5,800円＋税）



今回の歯科保険点数改訂で、歯科用CT（3次元エックス線段層撮影）の保険点数が決まりました。

本書は、日常臨床で遭遇する、パノラマやデンタルでは診断が困難で歯科用CTによる精査が必要な症例を供覧し、歯科用CT像で確認できた所見を、カルテ記載等の参考になるように、わかりやすく示しました。



歯科用CT (3次元エックス線段階撮影) での精査の必要性和、カルテ記載に役立つ所見のポイントが、ひと目でわかります。

日常臨床で遭遇する、パノラマやデンタルでは診断が困難なケースを30症例厳選

切歯管と近接した正中過剰埋伏歯の例-1

患者さんは5歳の男児。某歯科医院で上顎乳中切歯のう蝕除きを目的に撮影したエックス線写真で、上顎正中過剰埋伏歯の存在が疑われたため、病院小児歯科に精査目的で紹介来院した。

デンタルエックス線写真



A: 歯根と近接する逆生過剰埋伏歯と、正中口蓋縫合-A (舌側側)に逆生過剰埋伏歯を認める。歯冠はそれぞれ中切歯歯根と重複して見られるが、左側過剰埋伏歯と切歯管との関係は判然としない。

咬合エックス線写真



通常のエックス線写真では、病変の位置や範囲などが判然としません

埋伏歯の位置は、A、A'およびI、I'歯根よりも口蓋側に位置している。左側過剰埋伏歯と切歯管との関係は判然としない。

過剰埋伏歯の歯根の形態および永久歯の歯根と切歯管との位置関係の確認のために、歯科用CT撮像をおこなった。

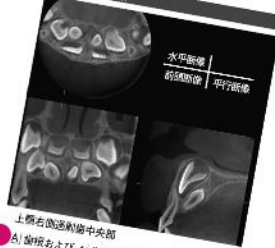
病変と下顎管、切歯管、上顎洞などとの位置関係の精査のためや、病変の広がり程度の精査のためなど、歯科用CTによる精査の必要性が示されています

パノラマやデンタルでは診断が困難だった病変の三次元的位置、範囲などが、歯科用CT像でよくわかります!

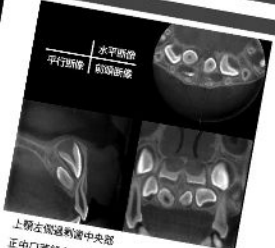
埋伏歯の下顎管や切歯管との位置関係、顎関節疾患、顎骨の欠損形態、腫瘍等の病変の広がり、インプラント治療など、歯科用CTによる三次元的な診断が必要な30症例を供覧します

埋伏歯

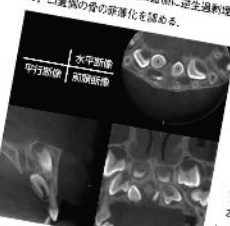
歯科用CT像



上顎右側過剰埋伏中央部
A: 歯根およびI'歯根口蓋側に逆生過剰埋伏歯を認める。口蓋側の骨の菲薄化を認める。



上顎左側過剰埋伏中央部
正中口蓋縫合-A (舌側側)からI'歯根口蓋側に逆生過剰埋伏歯を認める。口蓋側の骨の菲薄化を認める。



切歯管部
左側逆生過剰埋伏歯は切歯管に近接して見られる。



口蓋側からのV切像
A、A'、I、I'歯根および逆生過剰埋伏歯の立体的な位置関係を把握できる。

この症例で歯科用CT像が有効な理由
デンタルエックス線写真および咬合エックス線写真では、逆生過剰埋伏歯が2歯認められ、A、A'歯根およびI、I'歯根よりも口蓋側に位置しているが、立体的位置関係や左側過剰埋伏歯と切歯管との位置関係は不明である。
歯科用CT像によって、逆生過剰埋伏歯がA、A'歯根およびI、I'歯根よりも口蓋側に位置し、口蓋側位置を菲薄化させていることが立体的に捉えられており、左側逆生過剰埋伏歯が切歯管と近接していることが明確に示されている。

ポイント

ポイントは、デンタル像で確認できなかった過剰埋伏歯と隣在歯との立体的な位置関係や切歯管との位置関係が確認できたことである。

歯科用CT像で確認できた所見のポイントが、太字で簡潔に示されています

この症例で歯科用CT撮像が有効だった理由がまとめられています

(ページ見本。実際はカラーです)

I 歯科用CTの読像をするために

歯科用CTの原理 / 最新のパノラマ・歯科用CT複合機の特徴 / 歯科用CTの読像のための用語と本書における表記について / 歯科用CTの読像に必要な解剖学

II 歯科用CT読像の実例

埋伏歯

埋伏智歯の例-1 (下顎管との位置関係) / 埋伏智歯の例-2 (隣在歯の歯根吸収例) / 埋伏犬歯の例 (歯牙種:集合型との合併例) / 切歯管と近接した正中過剰埋伏歯の例-1 / 切歯管と近接した正中過剰埋伏歯の例-2

顎関節疾患

変形性顎関節症の例 / 顎関節部にみられた骨折の例 / 顎関節強直症が疑われた例 / 顎関節滑膜炎性軟骨腫症 (下顎頭周囲に不透過像がみられた例)

顎骨形態不良、歯根破折など

顎骨形態不整の例-1 / 顎骨形態不整の例-2 / 歯牙破折の例 / 歯根破折の例 / 歯槽骨骨折の例

嚢胞、腫瘍、炎症

両側下顎骨にみられた透過像 / 歯槽頂部にみられた単胞性の透過像 / 埋伏歯の歯冠周囲にみられた不透過像を伴う単胞性透過像 / 良性腫瘍摘出後にみられた透過像 / 下顎前歯根尖部にみられた不透過像 / 正中口蓋部にみられた不透過像 / 下顎小臼歯根周囲にみられた透過像 / 下顎大臼歯根尖部にみられた境界不明瞭な透過像 / 経過の長い根尖部透過性病変 (難治性根尖性歯周炎の例)

その他

長期間違和感が続いた根尖部の透過像 / 根尖周囲に不透過像がみられ異物が疑われた例 / 根尖部でのリーマ破折の例 / 上顎洞にみられた根尖部の単胞性透過像 / 左側下顎枝にみられた大きな多胞性透過像

インプラント治療

インプラント治療における歯科用CTの画像診断

症例でみる歯科用CTの三次元診断

お名前/医院名

TEL

ご住所 〒

●お取扱いは

●発行 砂書房

申込書